

みたか環境ひろば 第75号

令和3年4月1日号



環境講座「三鷹の“あしものたからもの”-『和ハーブ』の知恵を暮らしに活かす-」を開催しました！



令和3年3月13日（土曜日）、和ハーブ協会副理事長の平川美鶴様を講師にお迎えし、定員を超える応募者の中で、講演会が行われました。「和ハーブ」ということで、どんな話をしてくださるのかワクワクして聞かせていただきました。私たちが耳にするハーブは、バジル、タイム、ミントと洋風なハーブが思い出されますが、ハーブとはラテン語で「草」「Herba」が語源だそうです。日本各地で江戸時代以前より、広く人びとに活用されてきた有用植物の総称だそうです。

当日はZOOMで講演会のオンライン配信も行いました。

江戸時代に三鷹では、紫草と井の頭の水で染めた紫染がありました。「江戸紫」と呼ばれ、大流行しました。その江戸紫に関わる人々の寄進で紫灯籠が建てられています。

そして、玉川上水で見つかる和ハーブの紹介として、ヤブツバキ、サザンカ、サクラ類、ヨモギ、アケビ、タンポポ、ヒサカキ、フキ、スギナ、ツクシなどがあげられ、普段何気なく見ている植物が「和ハーブ」に属することを知りました。人や生き物たちのいのちも、自然の中でつながっています。道端の「雑草」や「雑木」には知られざる魅力や価値があるというお話を伺いました。

私も三鷹市の花と緑の広場のハーブゾーンで、ラベンダーを中心にいろいろなハーブの育成のお手伝いをさせていただき、勉強しています。身近にたくさんある和ハーブは奥の深いことや意識しないで生活してきたことに気づかされました。和ハーブの目線でまちの魅力を再発見しながら、次世代の子供たちに伝承していく必要があると考えました。（大平）



プラスチックごみの増加について



桜の便りが各地で聞かれる頃ですが、昨今のコロナ禍によって私たちの生活は大きく変わりました。不要不急の外出が限られ、買物、散歩程度でここ数か月は自宅で過ごしています。テレワーク等で朝昼晩の食事を家ですることが多くなり、スーパーに行きますと若い男性の買物客を多く見かけます。また、町では配食便の自転車を見ない日はありません。外食の機会が減り、テイクアウトの利用が増え、家庭ごみの量が増えたようです。我が家でも特にプラスチックごみが増えた感じがします。買物袋の有料化でマイバックの持参が浸透されつつありますが、テイクアウトの容器等プラスチック製品の多くは使い捨てのもので、利用後にきちんと分別されているのかと考えることもあります。

風の強い日は道路に散乱したりしています。プラスチックごみは自然に分解されることなく半永久的にたまり続け、河川を通し海に流れ込むことも少なくないと聞いております。家での生活が多くなる今の時期こそ、プラスチックごみの減量を考えていく必要性を感じます。（片岡）



「環境と思いやり」



三鷹に引っ越しをしてきて、14年になります。この近辺は、当時、桃の木がたくさん植えられていて、桃の節句の頃には、ピンク色の花が見事に咲いて、優しい香りを漂わせていました。清々しい気持ちになりました。鳥のさえずりが聞こえる閑静な住宅街だったのです。家の前には、広々とした駐車場があり、夜は綺麗な星空を眺めることが楽しみで、大変満足していました。

時代とともに環境が変化し、住宅が増え、人も増えました。どんな人でも、音を出さずに生活することは不可能です。でも、それぞれが時間帯を考えて行動することで、その音が騒音にならないのです。音の聞こえ方や感じ方は人によって違いますが、ちょっとした「気遣い」「気配り」「人に対する思いやり」によって、近隣の騒音問題は減っていくと思います。新型コロナウイルス感染症の緊急事態宣言の発令時は、自粛が求められます。この現状を乗り越えるためにも、思いやりを持って行動したいですね。（上野）



「ウルトラ省エネブック」についてご紹介

地球環境を守るために求められることは、エネルギーを大切に使うエコロジーな暮らし。資源エネルギー庁「エネルギー白書2020」によると、家庭の用途別エネルギー消費の上位3つは、1位が動力・照明他で33.8%、2位が給湯で28.4%、3位が暖房で25.4%とされています。ウルトラ省エネブックでは、手軽にできる省エネでお得な方法を紹介しています。

今回は、その中から省エネの方法をいくつかご紹介します。

①「プラグを抜いて待機電力OFF」

家庭で消費する電力のうち、約5%が待機電力です。コンセントからプラグを抜いたり、オートOFF機能や表示OFF機能を使ったりするとよいでしょう。

②「ひとり一分シャワーの時間を短縮する」

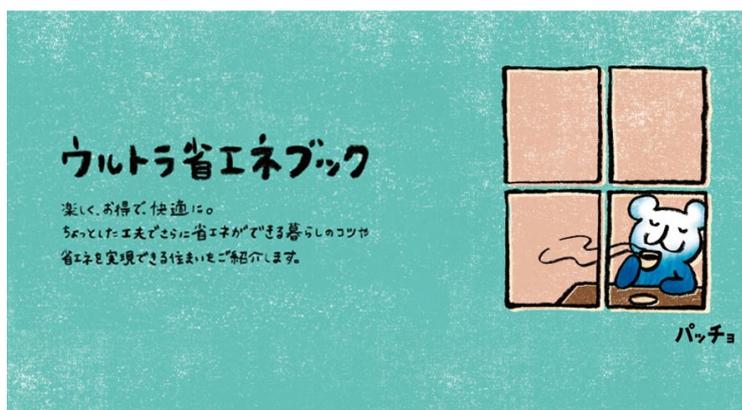
シャワーは出しっぱなしにしがちですが、ひとり1日1回1分シャワー時間を短くするだけで省エネになります。こまめにお湯を止める習慣をつけることが大切です。

③「暖房の設定温度を下げる」

冬の推奨室温は20度ですが、実際は高くなりがちです。厚手のカーテンや着るものを工夫して、室温を2度下げると、約27%の省エネが可能です。

他にもたくさんご紹介していますので、是非、東京ガス公式WEBサイトをご覧ください。（東京ガス株式会社 桑原）

東京ガス株式会社 公式ウェブサイトより
<https://www.tokyo-gas.co.jp/ultraene/>



編集後記

梅が咲き、桜が舞い散る季節となった。この時期は新たな出会いと、思い出深い別れの季節でもある。また花粉症の方々には苦痛に満ちた日々を過ごすことになる。桜は3月から5月初旬にかけて日本列島を北上して、人々を楽しませてくれる。日本人の花見の歴史は古く平安時代までさかのぼる。当時、梅の花を観賞したようである。秀吉により、桜の花見が一般化したようだ。

三鷹ではいたるところで桜を見ることが出来る。公園、道路をアーチ状に枝を張り出し、見事な景観である。3密を避け、のんびりと散歩することをお勧めしたい。（平澤）

次回の発行は令和3年7月の予定です。

発行：みたか環境活動推進会議
(愛称 みんなの環境)

連絡先：三鷹市生活環境部環境政策課

電話 0422-45-1151 内線2525

E-mail:kankyo@city.mitaka.lg.jp

本誌は、市役所、市政窓口、図書館、コミセンや市のHPから入手できます。